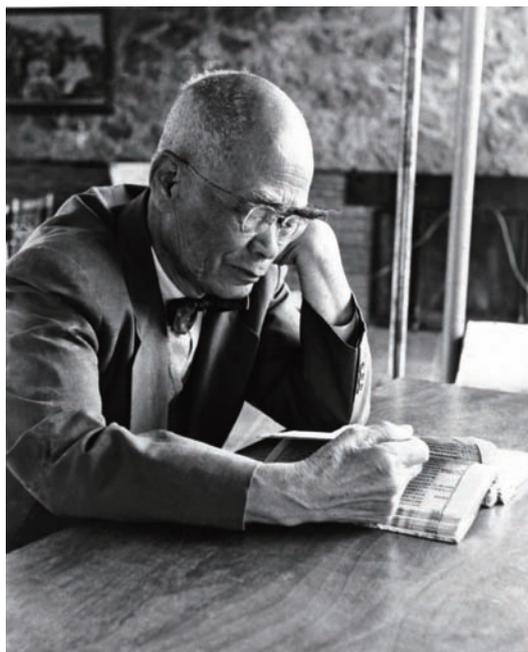


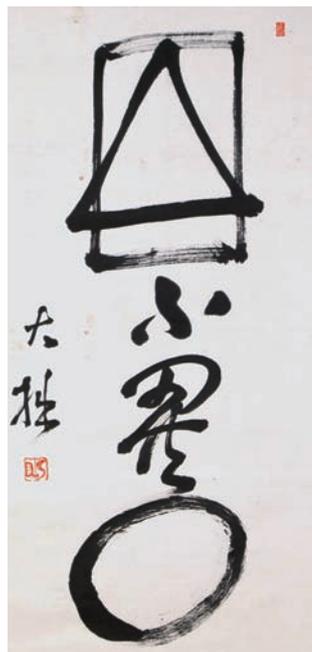


鈴木大拙展

Life = Zen = Art



本を読む鈴木大拙 86才
メキシコ エーリッヒ・フロム邸にて 1956年
©D. T. Suzuki Museum



鈴木大拙 書
「△□不異○(色不異空)」(映像展示)
鈴木大拙館蔵 ©D. T. Suzuki Museum

アンモラル ウィザウト・アート
禅は無道德であっても、無芸術ではありえない。鈴木大拙『禅と日本文化』(訳:北川桃雄)より

会期:

2022年7月5日[火] → 10月30日[日]

休館日:月曜日(7/18、9/19、10/10は開館) 開館時間:11時より19時まで

入館料:大人 1,500円 / 大人ペア 2,600円 / 学生(25歳以下)・高校生・70歳以上の方・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者
保健福祉手帳お持ちの方、および介助者(1名様まで) 1,300円 / 小・中学生 500円

*会期中、ご本人は何度でも展覧会へ入場できるパスポート制チケット。再入場の際、ご本人であることを証明するものをご提示下さい。

主催/会場: **ワタリウム美術館** 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6 Tel:03-3402-3001 Fax:03-3405-7714
Email: official@watarium.co.jp <http://www.watarium.co.jp>

協力:岡村美穂子(鈴木大拙館名誉館長、元日本民藝館評議員) テキスト:安藤礼二(文芸評論家)

会場デザイン: KOMPAS(小室舞) アートディレクション:グルーヴィジョンズ

出品協力:鈴木大拙館/金沢ふるさと偉人館/日本民藝館/Ray Kass/石川県西田幾多郎記念哲学館/南方熊楠顕彰館(田辺市)
/榎尾山高山寺/茨城大学五浦美術文化研究所/谷口建築設計研究所/Hessischer Rundfunk/石川県立図書館/東慶寺

*作品保護のため、会期中に一部展示替えがございます。

展示予定作家

木喰明満

Mokujiki Myoman 1718-1810

岡倉天心

Okakura Tenshin 1863- 1913

南方熊楠

Minakata Kumagusu 1867-1941

西田幾多郎

Nishida Kitaro 1870-1945

鈴木大拙

D. T. Suzuki (Suzuki Daisetz Teitaro) 1870 -1966

柳宗悦

Yanagi Muneyoshi 1889-1961

棟方志功

Munakata Shiko 1903-1975

ジョン・ケージ

John Cage 1912-1992

ヨーゼフ・ボイス

Joseph Beuys 1921-1986

ナムジュン・パイク

Nam June Paik 1932- 2006

谷口吉生

Taniguchi Yoshio 1937-

坂本龍一

Sakamoto Ryuichi 1952-

山内祥太

Yamauchi Shota 1992-

(資料展示)

仙厓義梵

Sengai Gibon 1750-1837 : 映像展示

カジミール・マレーヴィチ

Kazimir Malevich 1879-1935 : 映像展示

J・D・サルインジャー

Jerome David Salinger 1919-2010 : 書籍展示

直感は、何らかの意味で常に**創造的**です。

…ある意味で、ふつうの人は創造的な人生から程遠い。本当は常に創造しているというのに、その評価の方法をたいていの人々は知らないのです。

動物や植物なども同じく、当たり前のように創造しています。

鈴木大拙 『鈴木大拙 コロンビア大学セミナー講義(上)』(訳: 重松宗育、常盤義伸)より

鈴木大拙 すずき だいせつ

仏教学者。本名、貞太郎。石川県金沢市生まれ。東京帝国大学在学中、鎌倉円覚寺に参禅し、居士号「大拙」を受ける。1897年渡米、出版社に勤務。1909年帰国後、学習院、東京帝国大学講師、翌年、学習院教授となる。11年にビアトリス・アールスキン・レーンと結婚。21年大谷大学教授に就任。36年ロンドンでの世界信仰会議に出席。49年-58年、アメリカの大学やヨーロッパに赴き、大乘仏教思想とくに禅思想を講じる。英名D.T.Suzukiとして知られる。



棟方志功 書「無事」1958年 軸装 215.5 × 87.3cm
(陶軸: 島岡達三、表装: 柳宗悦) 日本民藝館蔵



鈴木大拙 書「無」軸装 161.0 × 68.5cm
鈴木大拙館蔵 ©D. T. Suzuki Museum



ジョン・ケージ「十牛図 (Zen Ox herding Pictures)」
1988年 24.7×26 cm RAY KASS蔵
Courtesy the John Cage Trust at Bard College, The University of Richmond Museums, and Ray Kass and the Mountain Lake Workshop.
Photo credit: University of Richmond Museums,

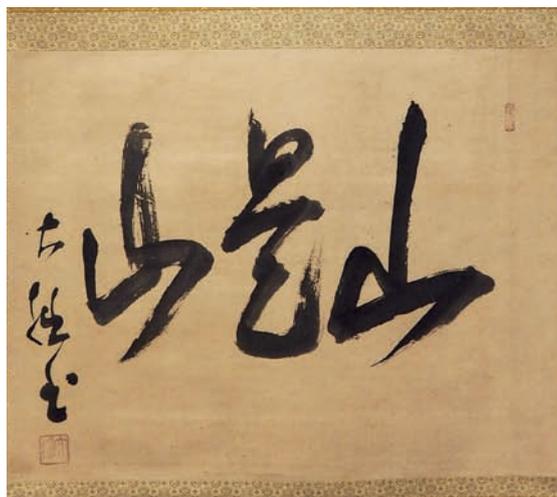
鈴木大拙展のためのテキスト

禅の教えを世界に広めた導師であり、精神と物質の差異を無化してしまう「靈性」という理念を提起して近代日本思想を刷新した鈴木大拙（1870-1966）。晩年、アメリカで講義を行う大拙のもとに、この後、現代音楽に革命をもたらすジョン・ケージ、現代文学に革命をもたらすJ・D・サリンジャーなどが集った。大拙の教えは、正真正銘、現代芸術の一つの源泉でもあった。それは決して偶然ではなかった。

大拙の生涯の伴侶となったピアトリスは、東洋思想に淵源する近代の総合宗教、神智学を信奉していた。神智学もまた、精神と物質の差異を無化してしまう「心」から、さまざまな感覚にしてイメージ、色彩にして形態が発生してくる様を具体的に説き、絵画の主題として「抽象」を選んだ表現者たちに甚大なインスピレーションを与えていた。「抽象」と東洋思想が何重にも交錯するなか、ヨーゼフ・ボイスの作品群が、ナムジュン・パイクの作品群が、続々と生み落とされていく。

それだけではない。高等中学校以来の盟友である西田幾多郎の哲学、互いに無名であった頃に書簡を交わした南方熊楠の生物学、自らの後継者と考えていた柳宗悦の民藝など、大拙からの影響は、グローバルとローカルという区別を超えて、あらゆる表現ジャンルの区別を超えて、きわめて巨大である。本展は、鈴木大拙からはじまる表現の系譜、その未知なる可能性を、さらに未来へと切り拓いていくための試みである。

テキスト：安藤礼二



鈴木大拙 書「山是山」
軸装 142×67 cm
金沢ふるさと偉人館蔵

ビーイング
一つの**存在**が客体と主体に分かれると、
もはや存在そのものとは言えない。分裂したものです。鈴木大拙『大拙 禅を語る』（監修・訳：重松宗育）より

耳で見、目で聞く。そうすれば正しく見ることができる。正しく、真実に、正確に聞くことができます。
禅が我々に期待するのは、こうした**体験**です。鈴木大拙『大拙 禅を語る』（監修・訳：重松宗育）より

今は永遠の今である、絶対現在である。

過去・現在・未来と直線に流れて続く今でない... 無限大の円環にのみ見出される中心である。鈴木大拙『日本の靈性』より

主な展示予定作品



木喰明満 「虚空菩薩像」1801年 72.7×24×17.5cm
日本民藝館蔵



ナムジュン・パイク「輪廻」1987年 59.5×79cm
ワタリウム美術館蔵



山内祥太「舞姫_Screening Edition」2022年
241.92 × 204.12cm 作家蔵

“And God saw everything that he had made, and, behold, it was very good.” (創世記、第一章)

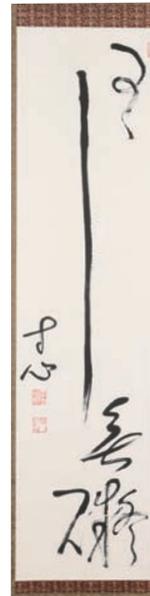
この平凡なvery goodが「妙」である。

このグッドは善悪の善でもなく、好醜の好でもない。
すべての対峙をはなれた絶対無比、それ自身においてある姿そのものなのである。
「妙」はこれに外ならぬ。雲門のいわゆる「日日是好日」の好である。

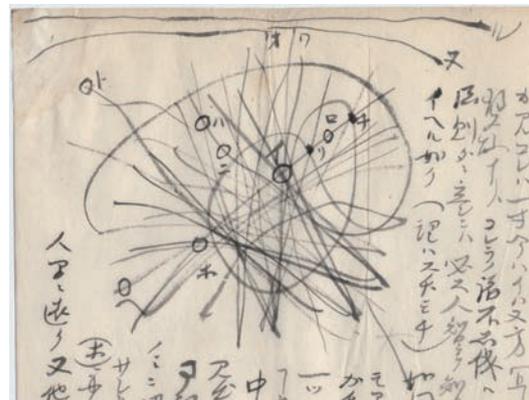
鈴木大拙 『大法論』(新編『東洋的な見方』)より



ジョン・ケージ「マルセルについて何も言いたくない」1969年
34.5×51cm×8枚 37×61×H2cm (台) ワタリウム美術館蔵



西田幾多郎 書「事々無礙」軸装 140×34.5cm
石川県西田幾多郎記念哲学館蔵



南方熊楠「南方マンダラが描かれた土宜法龍宛の手紙」
1903年7月18日 24.4×33.0cm (レプリカ)
南方熊楠顕彰館蔵

*ご取材/写真貸出など、ご希望の方は下記までご連絡ください。

(問合せ先) **ワタリウム美術館** Email: official@watarium.co.jp